

歯周病学実習Ⅱ

責任者名：佐藤 秀一

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

佐藤 秀一(歯科保存学Ⅲ 教授)

菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)

吉沼 直人(歯科保存学Ⅲ 准教授)

高山 忠裕(歯科保存学Ⅲ 准教授)

間中 総一郎(歯科保存学Ⅲ 助教)

酒井 嶺(歯科保存学Ⅲ 助教)

◆一般目標 (GIO)

第4学年前期「歯内療法学・歯周病学実習Ⅰ」から継続して、講義と連係し、歯周治療を実践するために必要な基本的臨床手技を模型実習等を通して修得する。

◆到達目標 (SBOs)

- ①適切な身だしなみ、言葉遣いおよび態度で医療面接を実施できる。
- ②安全、清潔、感染予防に配慮した行動ができる。
- ③歯周組織検査が実施できる。
- ④検査の結果および治療計画を患者に説明できる。
- ⑤歯周基本治療が実施できる。
- ⑥歯周外科治療が実施できる。

◆評価方法

実習成果 (70%) および実技試験 (30%) で判定する。実技試験は実施後、フィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
佐藤 秀一	金曜日 17:50~18:50 歯科保存学Ⅲ教授室 (本館6階)	satou.shuuichi@nihon-u.ac.jp 03-3219-8097	

◆授業の方法

毎回の実習の内容および関連知識を実習要綱や参考書で把握してください。実習では初めに関連知識の確認を行った後、実習内容の動画の提示、実演、実技指導等により理解を深めてもらいます。実習後に定期的に復習をすることにより、OSCEや翌年の臨床実習に備えてください。

【実務経験】佐藤秀一他全教員：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院歯周病科での臨床経験を活かし、関連する歯科医学の知識の確認も行いながら、本実習で学ぶ内容の実技指導を行います。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	歯周病学実習要綱 2023	日本大学歯学部歯科保存学 第Ⅲ講座編		2023

◆DP・CP

コンピテンス 4: 歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：4-1, 4-2, 4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-7, 4-8, 4-9, 4-10

対応するディプロマポリシー: DP4

◆準備学習(予習・復習)

予習は実習要綱をよく読んで、実習内容と関連している歯周病学の講義内容の理解を深めておくこと。

また、実習要綱や掲示等を確認し、器材等漏れのないように実習準備を行うこと。復習はその日に行った実習内容を反芻し、当日行った項目や手技の再確認をする。

◆準備学習時間

各回ごとに1時間程度を予習と復習に充てる。

◆全学年を通しての関連教科

Introduction to Medical and Dental Topics（1学年前期）

運動器（2学年前期）

神経（2学年前期）

内臓（2学年前期）

脈管・感覚器（2学年前期）

組織学（2学年前期）

知の構築技法（2学年前期）

口腔組織学（2学年後期）

口腔組織実習（2学年後期）

発生学（2学年後期）

口腔生理学（2学年後期）

口腔生化学（2学年後期）

微生物の基本操作（3学年前期）

歯科放射線学総論（3学年前期）

口腔衛生学（3学年前期）

Approaches to Basic Research（3学年前期）

病原微生物と感染症（3学年後期）

薬理学総論（3学年後期）

衛生学実習（3学年後期）

小児の歯科診療の基礎（3学年後期）

臨床口腔病理（3学年後期）

臨床口腔病理実習（3学年後期）

炎症と臨床検査（3学年後期）

歯科学統合演習Ⅳ（４学年通年）
 歯周病学（４学年前期）
 歯内療法学・歯周病学実習１（４学年前期）
 歯科放射線学各論（４学年前期）
 アドバンスト歯内療法学・歯周病学（４学年後期）
 専門総合特別講義Ⅲ（４学年後期）
 歯科学統合演習Ⅴ（５学年通年）
 臨床実習（５学年通年）
 POS型医療の構築（５学年前期）
 臨床推論の構築（５学年後期）
 臨床実習アドバンスト（６学年前期）
 症例演習（６学年前期）
 歯科学統合演習Ⅵa（６学年前期）
 専門総合特別講義Ⅰ（６学年前期）
 歯科学統合演習Ⅵb（６学年後期）
 専門総合特別講義Ⅱ（６学年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ～ 3		9.15	5 ～ 7	1. 実技試験1	・ブラッシング指導が実施できる。 実技試験を行い、そのフィードバックにより実施手順を確認する。	吉沼 直人 佐藤 秀一 菅野 直之 西田 哲也 高山 忠裕 間中 総一 郎 酒井 嶺	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-1) 口腔内の診察・記録
4 ～ 6		9.22	5 ～ 7	2. プロービングの基本実習 (教) pp.17-46	・歯周治療用模型を用い、正しいプロービングが実施できる。	歯周実習	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
7 ～ 9		9.29	5 ～ 7	3. スケーリングの基本（縁上スケーリング） (教) pp.69-88, pp.159 - 162	・歯周治療用模型を用い、上下顎の縁上スケーリング操作が実施できる。	歯周実習	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策

							F-2-1) 医療面接 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
10 ～ 12		10.13	5 ～ 7	4. 上顎のスクレーリング (教) pp.69-88, pp.159 - 162	・歯周治療用模型を用い、上顎に対するスクレーリング操作が実施できる。	歯周実習	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
13 ～ 15		10.20	5 ～ 7	5. 下顎のスクレーリング (教) pp.69-88, pp.159 - 162	・歯周治療用模型を用い、下顎に対するスクレーリング操作が実施できる。	歯周実習	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
16 ～ 18		10.27	5 ～ 7	6. 実技試験2 (スクレーリング)	・スクレーリングが実施できる。フィードバックにより手技の到達度の確認をする。	歯周実習	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
19 ～ 21		11.3	5 ～ 7	7. 上顎のルートプレーニング (教) pp.69-88, pp.159 - 162	・歯周治療用模型を用い、上顎に対するルートプレーニング操作が実施できる。	歯周実習	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
22		11.10	5	8. 下顎のルートプ	・歯周治療用模型を用い、下顎に対	歯周実習	E-3-3)-(3) 歯

～ 24			～ 7	レーニング	するルートプレーニング操作が実施できる。		周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
25 ～ 27		11.17	5 ～ 7	9. 実技試験3 (ルートプレーニング)	・ルートプレーニングが実施できる。フィードバックにより手技の到達度の確認をする。	歯周実習	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
28 ～ 30		11.24	5 ～ 7	10. 暫間固定 (レジン結紮固定法、ワイヤー・レジン固定法) (教) pp.89-101	・動揺歯を一時的に固定し、歯周組織の安定を図ることを目的とする暫間固定のうち、レジン結紮固定法、ワイヤーレジン固定法の術式を実施できる。	歯周実習	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 F-3-5) 小手術・口腔粘膜疾患の治療
31 ～ 33		12.1	5 ～ 7	11. 歯肉切除術 (教) pp.108-114	・仮性ポケットを形成している組織を除去し、健康な歯周組織を得ることを目的とする歯肉切除術の術式を実施できる。 ・歯周外科手術に必要な各種縫合が実施できる。	歯周実習	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療

							F-3-5) 小手術・口腔粘膜疾患の治療 F-3-5) 小手術・口腔粘膜疾患の治療
34 ～ 36		12.8	5 ～ 7	12. 実技試験4 (歯周病の病状説明)	・歯周病の病状説明を実施できる。 フィードバックを受け、知識と説明の到達度を確認する。	歯周実習	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 F-3-5) 小手術・口腔粘膜疾患の治療
37 ～ 39		12.15	5 ～ 7	13. フラップ手術 (教) pp.115-142	・フラップ手術の基本的術式を実施できる。 ・フラップ手術における各種縫合が実施できる。 次回実施する歯槽骨外科手術について説明できる。	歯周実習	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 F-3-5) 小手術・口腔粘膜疾患の治療
40 ～ 42		12.22	5 ～ 7	14. 歯槽骨外科手術	・歯槽骨外科手術には、骨切除と骨整形がある。その術式について実施できる。	歯周実習	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療

							<p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療</p> <p>F-3-5) 小手術・口腔粘膜疾患の治療</p>
43 ～ 45		1.12	5 ～ 7	15. ヘミセクション	<p>・根分岐部病変に対する処置法であるヘミセクションを実施できる。</p>	歯周実習	<p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療</p> <p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p> <p>F-2-1) 医療面接</p>

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
歯周実習	950	吉沼 直人
	998	佐藤 秀一
	1065	菅野 直之
	1569	高山 忠裕
	2700	間中 総一郎

